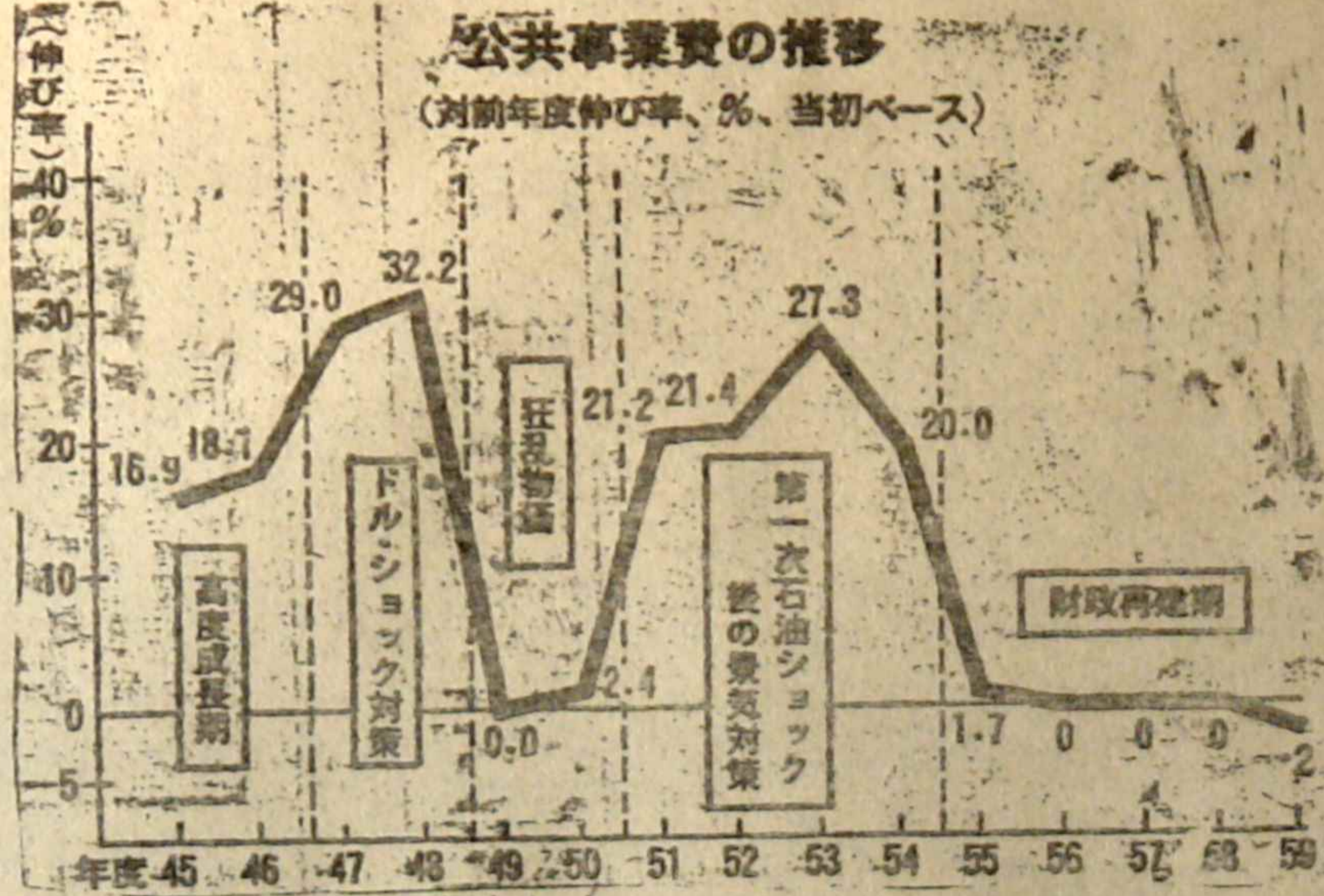


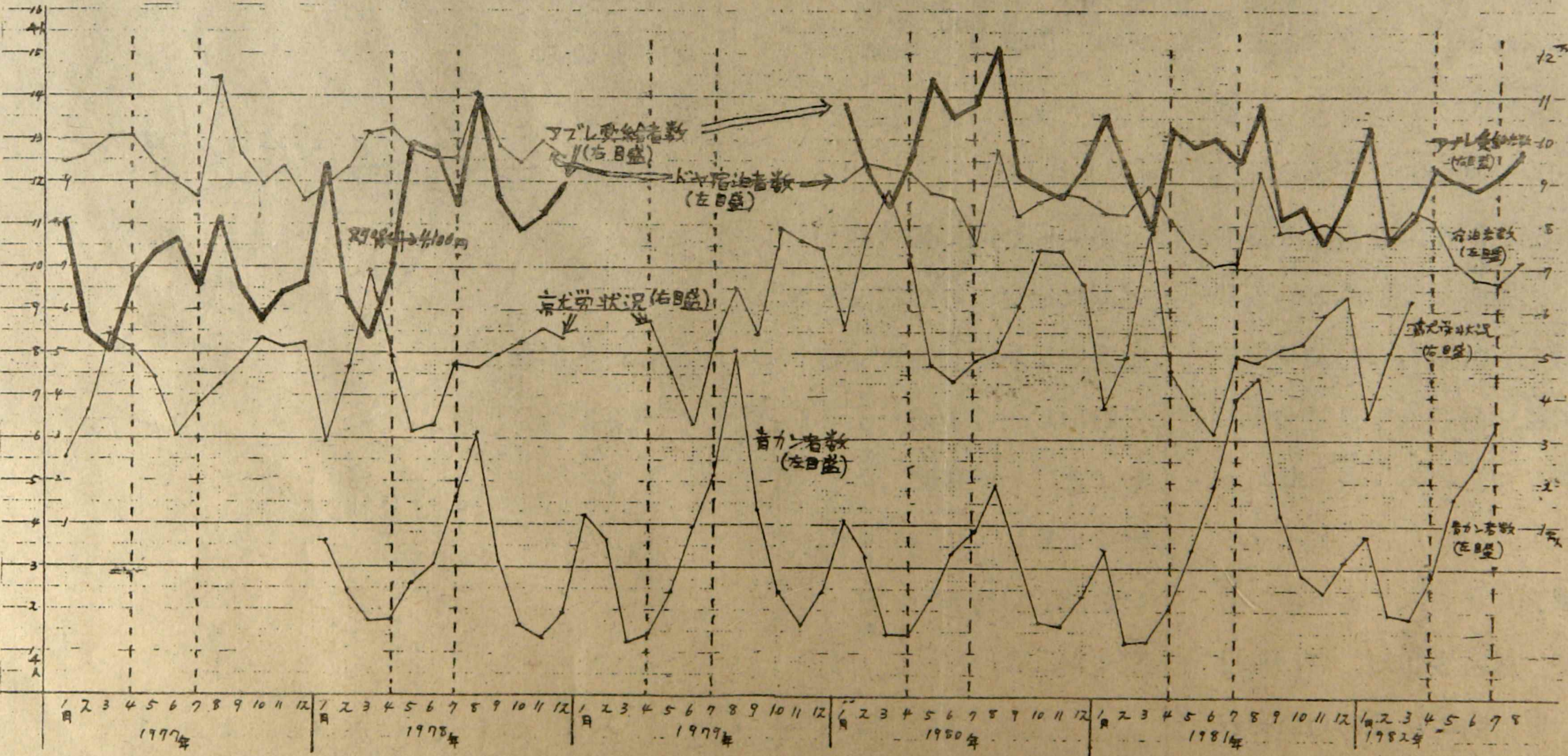
「ロゼリ」にひかれてくるような...

下のグラフは裁判所から送付された資料(西成署が毎年作成している、あいりん地区の実態)などから作成したものの。西成署の調べたものを使うのは、ケタクソ悪い。という気がこないでもないが、もともと私達が利用すべきもの。我らの数字である。さて、このグラフからわかることは...

① グラフの形からしても、自身をノコでみかれているような生活を強いられている。
 ② 毎年、四月から七月にかけて仕事が減り、ドヤ宿泊者数も減って、アブレ受給、青カン者数が増えている。
 ④ 釜で仕事があると言える月は、10、11、1、3月の四ヶ月



▲1984年1月26日読売新聞



である。(公共事業費のグラフとこの比較でもわかるように、その四ヶ月の仕事量そのものに大小がある。今年の四月以降の見通しは...)